

地方自治情報化フェア視察報告

視察日：令和6年10月10日(木)

場 所：千葉県千葉市美浜区幕張メッセ国際展示場

えべつ地域創生の会

本間 憲一

鈴木 誠(文責)

1. 地方自治情報化推進フェア2024は、10月9日から10日の日程で千葉県幕張メッセにて開催され、講演は「生成AI活用に向けて自治体はどう取り組むべきか」等4本、パネルディスカッション、トークセッション等が実施された。

2. 視察項目として、Gcomホールディングス(株)・地方行政経営研究所が展開する「まちだん」は、議会情報をわかりやすく発信、住民が参加できるデジタル議会を目指し、議会の情報を広報し、住民の声を広聴するサービスを重点的に視察した。

3. 「まちだん」とはインターネットを活用し多様な住民の声を広聴することを目的に開発され、住民からの相談などを双方向でコミュニケーションが取れる場で広報する。広聴と広報を同時に行い住民の関心を高めることを目的とされている。

議会情報のオープン化、住民とのコミュニケーションをデジタル化し、①議会報告会の動画配信・・・市民向けにスマートフォンで見られるよう配信し、質問の受付、回答が出来る。②活動状況の見える化・・・議員のプロフィール・活動状況・得意分野を公開。公開することで住民の理解が得られる。③広報の強化・・・議会の情報を分かり易くすることで、住民の参加促進・関心の向上を図ること。

4. 地方議会DXデジタル技術で開かれた議会を実現する仕組み

全ての議会情報をまとめ、広報・広聴を強化する。①議会報告会のLIVE配信、スマートフォンから閲覧、質問デジタルでの参加が可能。②プロフィールや活動の見える化。より多くの住民に見て頂き信頼性や親近感を高める。③議会だよりや会期日程、議員名簿、委員会活動の掲載。従来のホームページの情報+新しい情報(動画配信も)

5. 今回の視察により議会広聴広報の重要性を再認識し、Gcomホールディングス(株)・地方行政経営研究所が展開する「まちだん」を引き続き調査していくこととした。